

戸田市保育士アンケート調査報告書

平成30年1月

戸 田 市

目 次

1	調査の概要	
1.	調査の目的等	1
2.	調査対象	1
3.	調査項目	1
4.	調査方法	1
5.	調査実施期間	1
6.	配布・回収の概要	1
2	調査結果	
I	回答者の属性	
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	配偶者の有無	2
(4)	未就学児の有無	2
(5)	居住地	3
(6)	通勤時間	3
(7)	主な通勤手段	3
II	現在の就業状況等	
(1)	保育士資格の取得方法	4
(2)	勤務する保育園の種類	4
(3)	雇用形態	5
(4)	現在の勤務先での保育士就業年数	5
(5)	保育士として働く年数と最長勤務年数	6
(6)	現職場への就業のきっかけ、最も役立ったもの	7
(7)	現在の就業の満足度	8
III	保育士として働くことについて	
(1)	保育士の退職経験の有無・回数	11
(2)	保育士勤務先を退職した理由	12
(3)	妊娠・出産や育児のために退職した理由	13
(4)	保育士の継続意向	14
(5)	保育士として働くために、もっとも重視すること	19
(6)	保育士として働きつづけるために修得したい知識や技術	20
(7)	希望する研修内容	21
3	付属資料	
	調査票	23

1 調査の概要

1. 調査の目的等

戸田市では、保育所等への申込者の急増を背景に、これまでにない規模とスピードで保育の受入枠の拡大を図る必要がある。保育所等の整備に当たっては、保育人材の確保が必須であり、全国的に保育士不足が深刻化する中で、必要な保育人材をいかに確保するかが大きな課題となっている。

こうした課題状況を踏まえ、喫緊の保育士不足に対応するとともに、長期に渡り、安定的に保育人材を確保し、定着化を図っていくことができるよう、具体的方策を協議の上実施していく予定である。

その参考とする基礎資料を得ることを目的として、「保育士アンケート調査」を実施した。

2. 調査対象

調査は、市内の私立認可保育所、小規模保育事業所 A 型及び B 型、事業所内保育事業所にお勤めの保育士の方全員を対象にお願いした。

3. 調査項目

保育人材の確保、長期・安定的な保育人材の定着化を図るために必要な、保育士の現状や意向等の把握と、戸田市の保育の魅力アップに関する提案・意見などを伺うこととし、次のような調査項目を設けた。

I 保育士の属性・現状

- ・性別、年齢、配偶者・未就学児の有無、居住地、通勤時間、通勤手段

II 就業状況と満足・不満状況

- ・保育士資格取得方法、勤務先の種別、雇用形態、就業年数、就業のきっかけ、就業の諸側面に対する満足度

III 退職経験やその理由、保育士として働き続ける意向や条件等

- ・退職経験の有無・回数、退職の理由、妊娠・出産・育児で退職の理由、取得したい知識・技術、希望する研修内容

IV 保育人材確保・定着化や戸田市の保育の魅力アップに関する提案・意見など

- ・保育人材の確保への提案・意見、保育人材の定着化への提案・意見、戸田市の保育の魅力アップへの提案・意見、戸田市の保育全般についての意見

4. 調査方法

自記式アンケート調査票を、施設経由配布・郵送回収方式で実施した。

5. 調査実施期間

平成 29 年 8 月 8 日配布～同年 8 月 31 日回収締切

6. 配布・回収の概要

配布対象の総数： 605 人 有効票の回収数： 397 票 回収率 65.6%

2 調査結果

I 回答者の属性

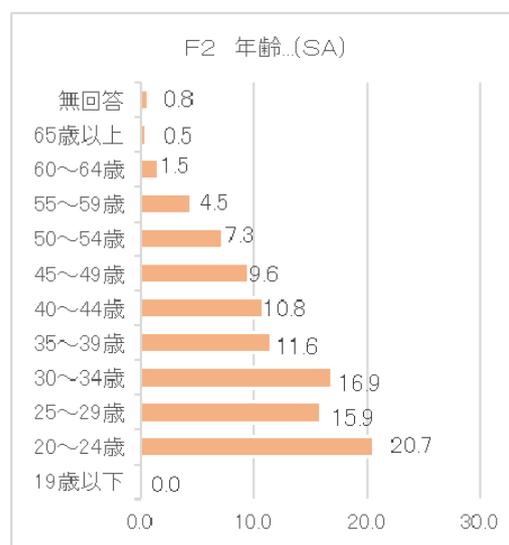
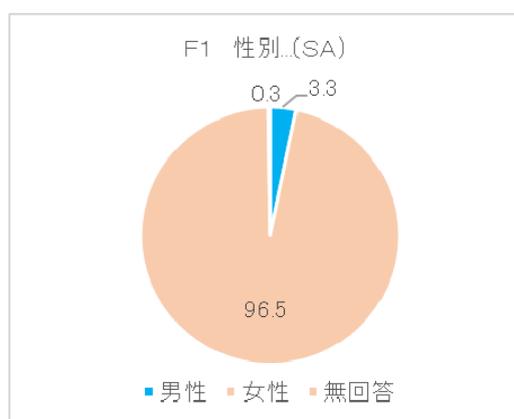
(1) 性別

回答者は、女性が96.5%で大部分を占め、男性は3.3%と僅かで、性別無回答が0.3%あった。

(2) 年齢

回答者の年齢では、20～24歳(20.7%)が最も多く、次いで30～34歳(16.9%)、25～29歳(15.9%)の順となり、20代と30代前半世代で53.5%と全体の半数である。

20代と30代では世代後半が前半より約5ポイント少なく、仕事の経験を積んだ人や主任クラスが少ない可能性が窺える。

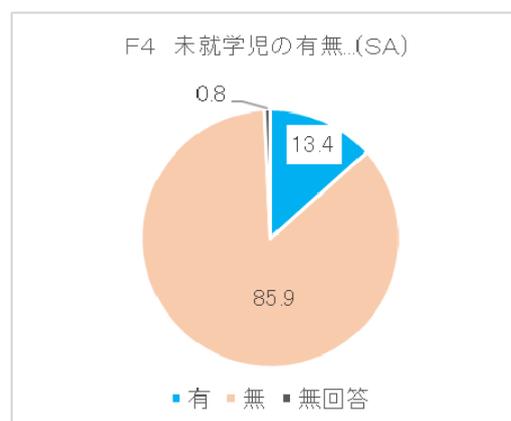
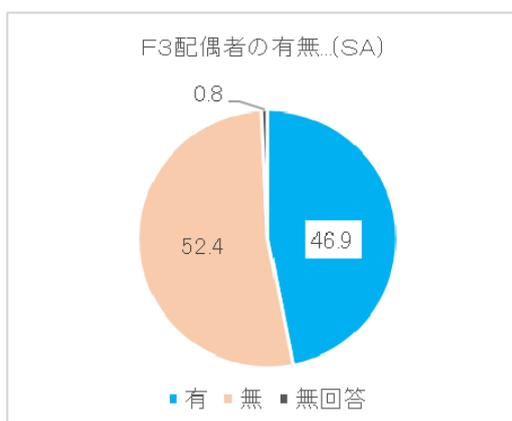


(3) 配偶者の有無

配偶者がある保育士は46.9%で、配偶者が無い方が52.4%と過半数である。

(4) 未就学児の有無

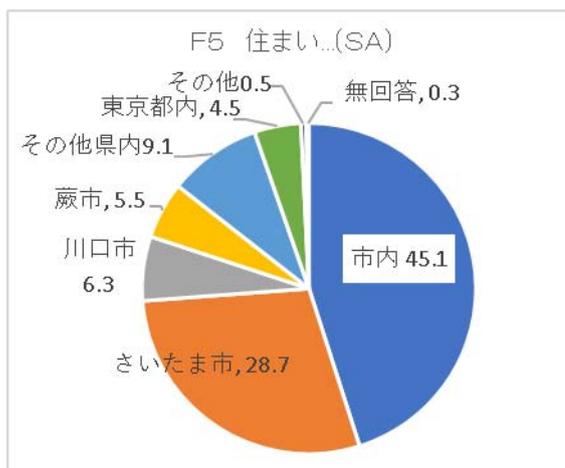
未就学児がいる保育士は13.4%であり、未就学児がいない保育士が85.9%と大半を占めた。



(5) 居住地

戸田市内に居住する保育士が 45.1%で半数近く、次いで、さいたま市居住者が 28.7%、川口市 6.3%、蕨市 5.5%の順で、以上の隣接地域合計が 85%余りと大部分を占める。

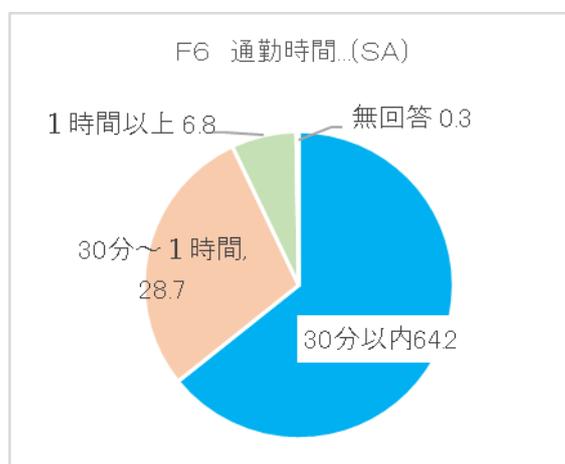
東京都内居住者も 4.5%見られた。



(6) 通勤時間

通勤時間「30 分以内」(64.2%)の保育士が全体の約 3 分の 2 と多いが、「30 分～1 時間」(28.7%)とやや長い方と、「1 時間以上」(6.8%)を合わせると 3 人に 1 人を超える。

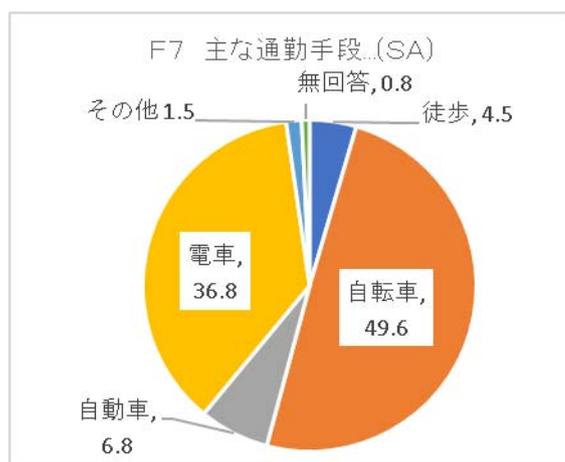
通勤時間が長い人の比率が高いため、早番、遅番などシフト勤務の大変さと、シフト勤務を編成する大変さが窺える。



(7) 主な通勤手段

自転車(49.6%)が約半数を占め、次いで、電車(36.8%)が 3 人に 1 人余りとなっている。徒歩(4.5%)と自転車で 54.1%と過半数になる。

主な通勤手段が電車である場合、駅からの距離によっては徒歩、バスなど別の交通手段も必要とし、通勤の苦勞も多いと見られる。



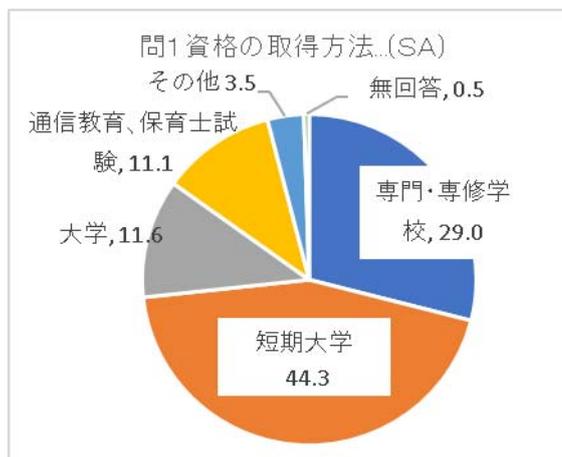
Ⅱ 現在の就業状況等

(1) 保育士資格の取得方法

問1 あなたの保育士資格の取得方法は。(○は1つだけ)

1. 専門(専修)学校の保育士養成課程
2. 短期大学の保育士養成課程
3. 大学の保育士養成課程
4. 通信教育等で学んだ後、保育士試験
5. その他()

保育士資格の取得は、「短期大学の保育士養成課程」(44.3%)が一番多く、次いで「専門(専修)学校の保育士養成課程」(29.0%)、「大学の保育士養成課程」(11.6%)の順となっている。

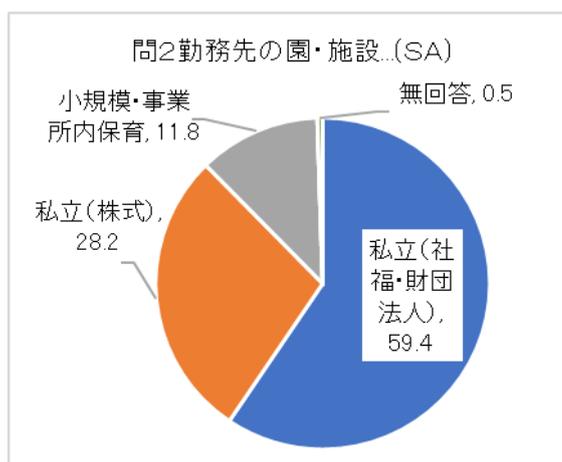


(2) 勤務する保育園の種類

問2 現在のお勤めの園(施設)は。(○は1つだけ)

1. 私立保育所(社会福祉・財団法人)
2. 私立保育所(株式会社)
3. 小規模保育事業所・事業所内保育事業所
4. その他()

勤務する保育園の種類は、私立保育所(社会福祉法人・財団法人)(59.4%)が最も多く6割近くを占める。次いで、私立保育所(株式会社)(28.2%)、小規模保育事業所・事業所内保育事業所(11.8%)の順であった。



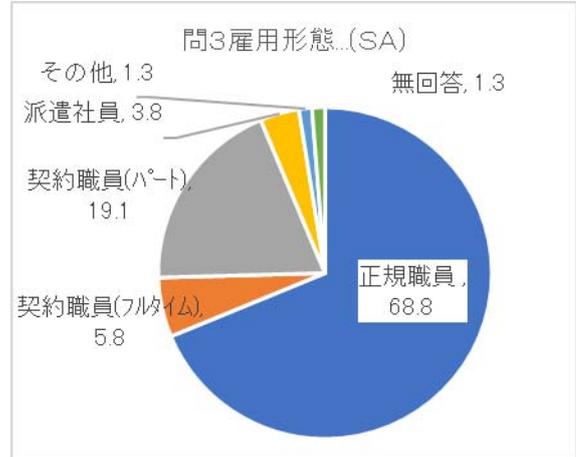
(3) 雇用形態

問3 あなたの現在の雇用形態は。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 正規職員 (フルタイムの無期契約) | 4. 派遣社員 |
| 2. 有期契約職員 (フルタイム) | 5. その他 () |
| 3. 有期契約職員 (パートタイム) | |

雇用形態では、正規職員(68.8%)が3分の2を占め最も多く、次いで、有期契約職員(パートタイム)(19.1%)、有期契約職員(フルタイム)(5.8%)、派遣社員(3.8%)の順であった。

回答職員の約3人に2人は正規職員、約5人に1人は有期契約職員(パートタイム)となる。



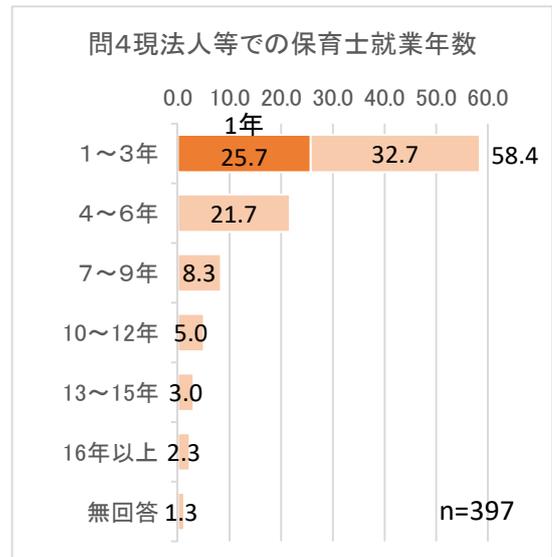
(4) 現在の勤務先での保育士就業年数

問4 現在の法人等での保育士としての就業年数は。()年目

現法人での保育士としての就業年数は、「1～3年」(58.4%)が最も多く(そのうち「1年」は25.7%)、3年以下で約6割を占める。

さらに、「4～6年」(21.7%)、「7～9年」(8.3%)、「10～12年」(5.0%)と続き、長く同じ法人で働く保育士は少なく、退職する保育士が多い状況が窺われる。

また、現法人での保育士としての就業年数の平均は4.0年である。



(5) 保育士として働く年数と最長勤務年数

問5 あなたは保育士として通算何年仕事をされていますか。また、一つの法人等で保育士として最も長く継続して働いた年数は。(1年未満の方は1年とお書きください)

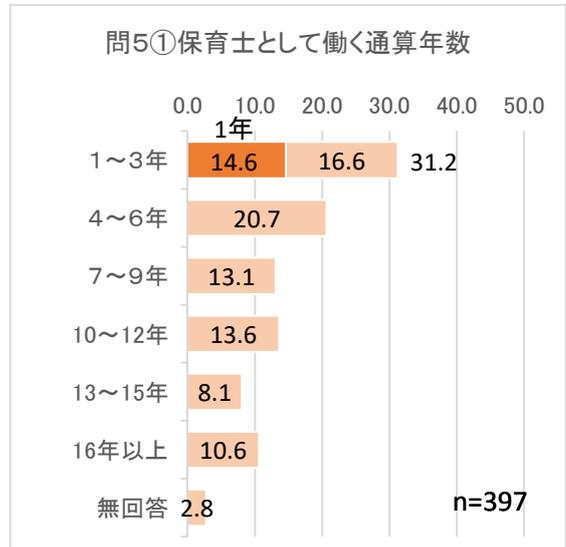
保育士通算 約 () 年 保育士として1箇所最長 約 () 年

(5)①保育士通算年数

保育士通算年数は、「1～3年」(31.2%)が最も多く(そのうち「1年」は14.6%)、次いで「4～6年」(20.7%)、「10～12年」(13.6%)の順となっている。

経験の少ない通算年数6年以下の保育士が半数を超えている(51.9%)。

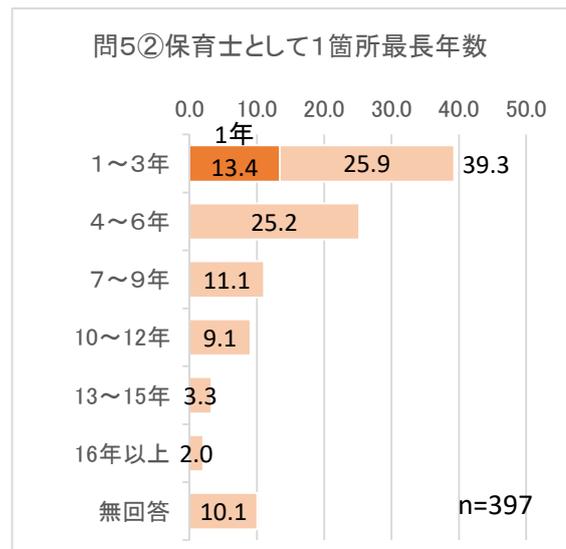
また、保育士通算の平均年数は7.9年である。



(5)②保育士として1箇所最長勤務年数

1箇所最長勤務年数が「1～3年」(39.3%)が最も多く(そのうち「1年」は13.4%)、次いで「4～6年」(25.2%)、「7～9年」(11.1%)、「10～12年」(9.1%)の順となっている。

また、1箇所最長勤務年数の平均は5.4年である。

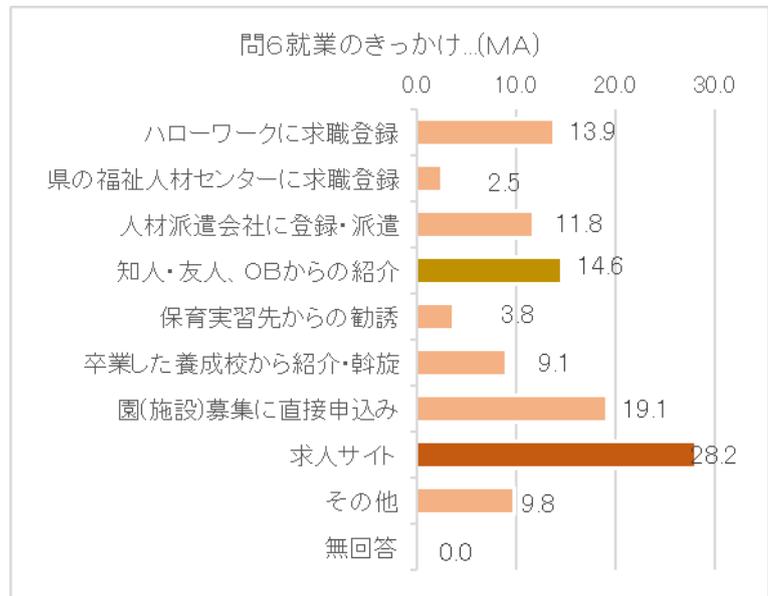


(6) 現職場への就業のきっかけ、最も役立つもの

問6 現在、勤務している職場への就業のきっかけは。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. ハローワークに求職登録 | 6. 卒業した養成校からの紹介・あっせん |
| 2. 県の福祉人材センターに求職登録 | 7. 園(施設)の募集に対し自発的に直接申込み |
| 3. 人材派遣会社に登録・派遣 | 8. 求人サイト サイト名 () |
| 4. 知人・友人、OBからの紹介 | 9. その他 () |
| 5. 保育実習による実習先からの勧誘 | |

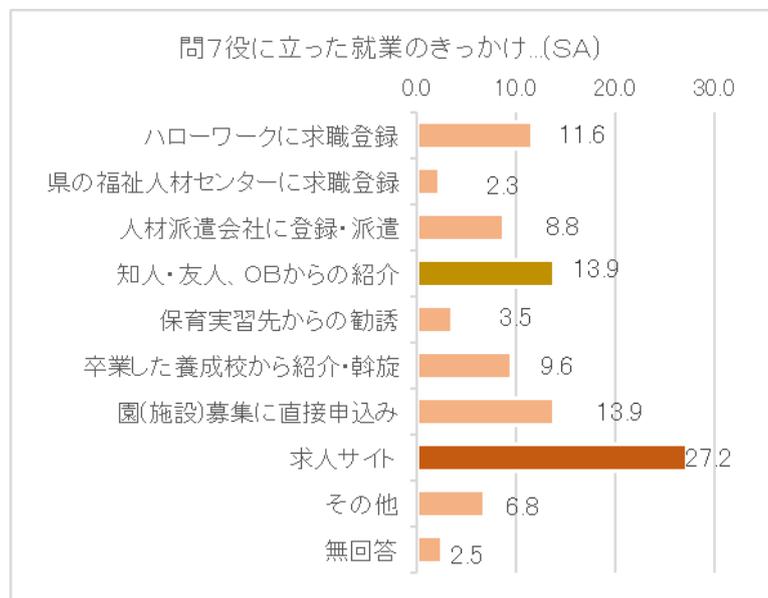
現在勤務している職場への就業のきっかけは、「求人サイト」(28.2%)が最も多く、次いで「園(施設)募集に直接申込み」(19.1%)、「知人・友人、OBからの紹介」(14.6%)、「ハローワークに求職登録」(13.9%)の順となっている。



問7 問6の就業のきっかけの中で、最も役に立ったのは。(〇は1つだけ)

就業のきっかけのうち最も役に立ったのは、「求人サイト」(27.2%)が最も多く、次いで「園(施設)募集に直接申込み」と「知人・友人、OBからの紹介」(ともに 13.9%)、「ハローワークに求職登録」(11.6%)の順となっている。

「求人サイト」の利用と効果が4人に1人の割合を超えていること、「知人・友人、OBからの紹介」が、ハローワークや人材派遣会社に比べても、利用と効果が比較的あることが分かる。



(7) 現在の就業の満足度

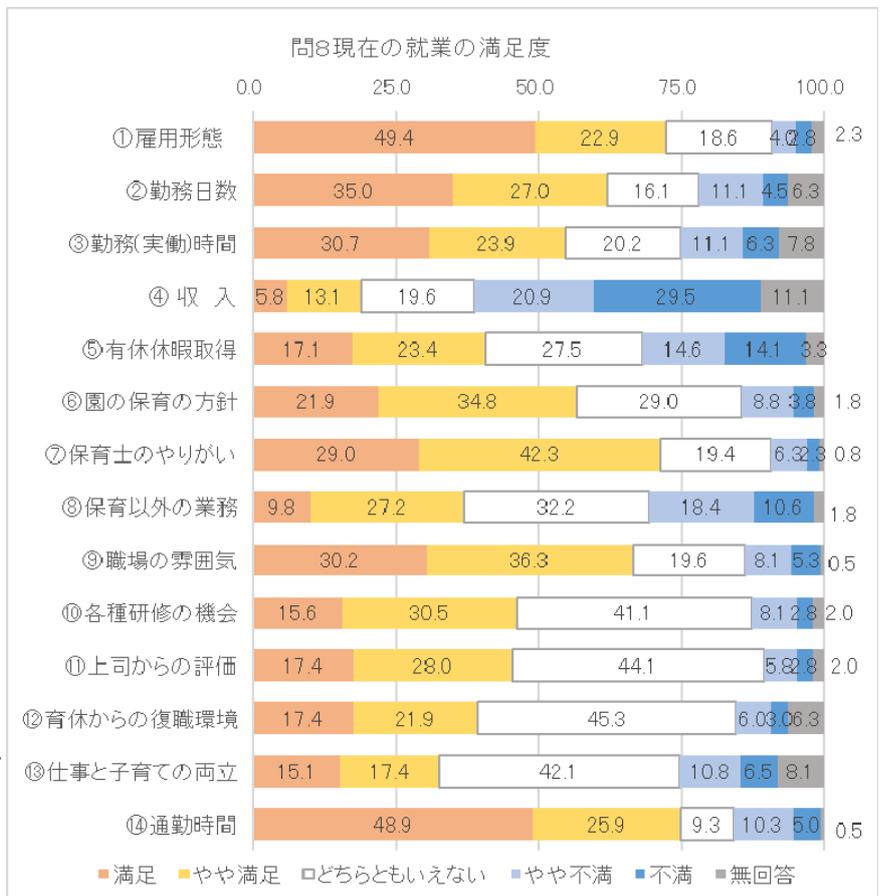
(7)① 現在の就業の諸側面への満足度

問8 現在の就業の満足度は。(それぞれ○は1つだけ) ※勤務日数・時間、収入については、() 内に数字でご記入ください。 《下表中の斜体青色数値は、回答比率%を示す》						
内容	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満	無回答
雇用形態(正職員、パート、派遣)	49.4	22.9	18.6	4.0	2.8	2.3
勤務日数 週() 日	35.0	27.0	16.1	11.1	4.5	6.3
勤務(実働)時間 日() 時間	30.7	23.9	20.2	11.1	6.3	7.8
収入 年() 万円	5.8	13.1	19.6	20.9	29.5	11.1
有給休暇取得	17.1	23.4	27.5	14.6	14.1	3.3
園などの保育の方針	21.9	34.8	29.0	8.8	3.8	1.8
保育士としてのやりがい	29.0	42.3	19.4	6.3	2.3	0.8
保育以外(記録、教材作成等)の業務	9.8	27.2	32.2	18.4	10.6	1.8
職場の雰囲気	30.2	36.3	19.6	8.1	5.3	0.5
各種研修の機会	15.6	30.5	41.1	8.1	2.8	2.0
上司からの自分への評価	17.4	28.0	44.1	5.8	2.8	2.0
育児休業から復職しやすい環境	17.4	21.9	45.3	6.0	3.0	6.3
仕事と子育ての両立	15.1	17.4	42.1	10.8	6.5	8.1
自宅からの通勤時間	48.9	25.9	9.3	10.3	5.0	0.5

現在の就業について上記 14 項目で満足度を聞いた結果、次の 7 項目で満足とやや満足の合計回答が 50%を超えた。

- ・雇用形態(72.3%)
- ・勤務日数(62.0%)
- ・勤務実働時間(54.6%)
- ・園の保育方針(56.7%)
- ・園の保育方針(56.7%)
- ・保育士のやりがい(71.3%)
- ・職場の雰囲気(66.5%)
- ・通勤時間(74.8%)

不満とやや不満の合計回答が 50%を超えたのは、収入(50.4%)のみだが、「有給休暇取得」と「保育以外の業務」については合計 29%とやや多い。



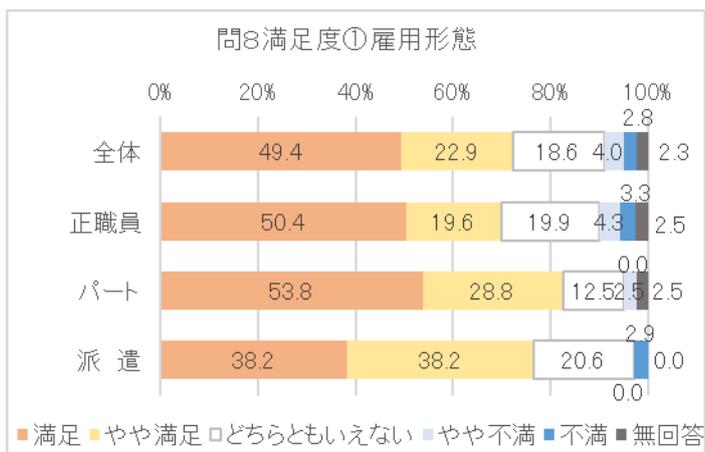
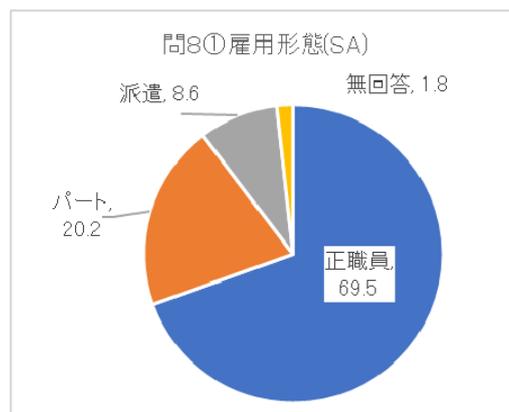
(7)② 雇用形態別の状況

雇用形態については、正職員(69.5%)、パートタイム(20.2%)、派遣(8.6%)である。

各雇用形態別の保育士の雇用形態に対する満足度は、いずれも満足とやや満足の合計が70%以上である。

正職員よりパートの満足度が高く、派遣も満足とやや満足の合計では正職員を上回っている。

各雇用形態とも、不満とやや不満の合計が8%未満と少ないが、正職員が他よりも不満が多くなっている。



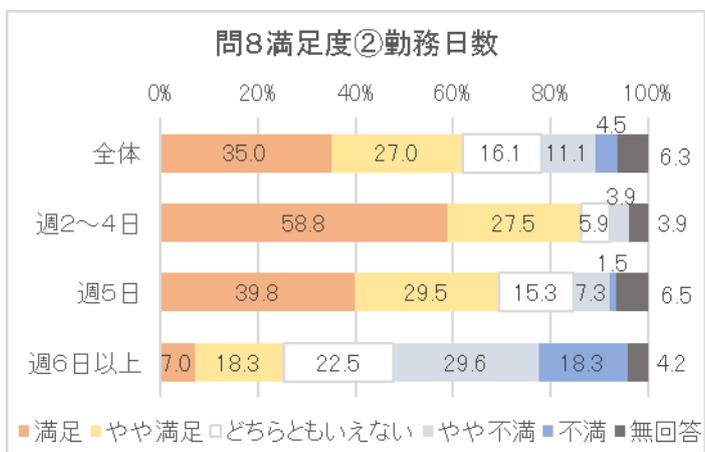
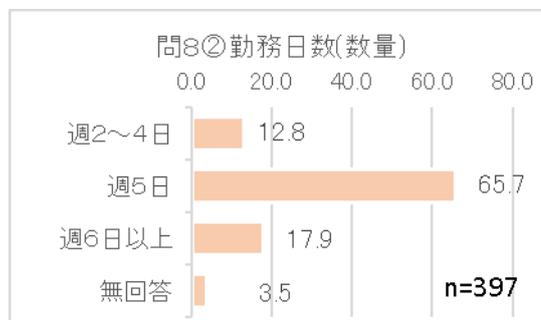
(7)③ 週の勤務日数別の状況

勤務日数は、週5日(65.7%)が3人に2人の割合を占め、次いで週6日以上(17.9%)、週2~4日(12.8%)の順となっている。

勤務日数別の満足度では、「週2~4日」勤務の保育士で、満足とやや満足の合計が86%を超えて満足度が非常に高い。

週5日勤務の場合、満足とやや満足の合計が約70%、不満とやや不満の合計9%弱で、満足度は高い。

週6日以上勤務の保育士（回答者数71人）では、満足とやや満足を合わせても25.3%と満足度が低く、不満とやや不満の合計は47.9%で、約半数が不満となっている。



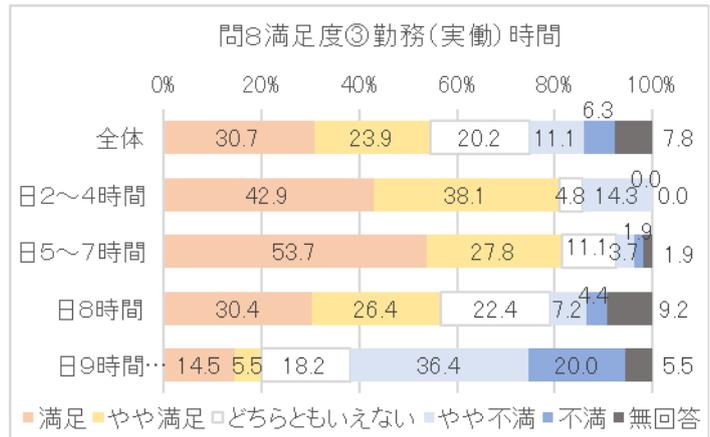
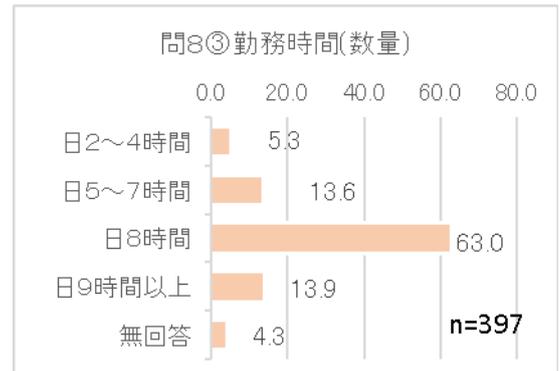
(7)④ 勤務(実働)時間別の状況

勤務(実働)時間は、法定の日8時間(63.0%)が3人に2人の割合を占め、日9時間以上(13.9%)、日5~7時間(13.6%)が続いている。

勤務時間別の満足度では、「日2~4時間」と「日5~7時間」の勤務では、満足とやや満足の合計が80%を超え、満足度が高くなっている。

保育士の63%を占める「日8時間」勤務の保育士では、満足とやや満足の合計が56.8%と過半数で、不満とやや不満の合計は11.6%と少ない。

「日9時間以上」の場合は、不満とやや不満の合計が56.4%と過半数あり、長時間勤務(実働)への不満が強いことが明らかである。



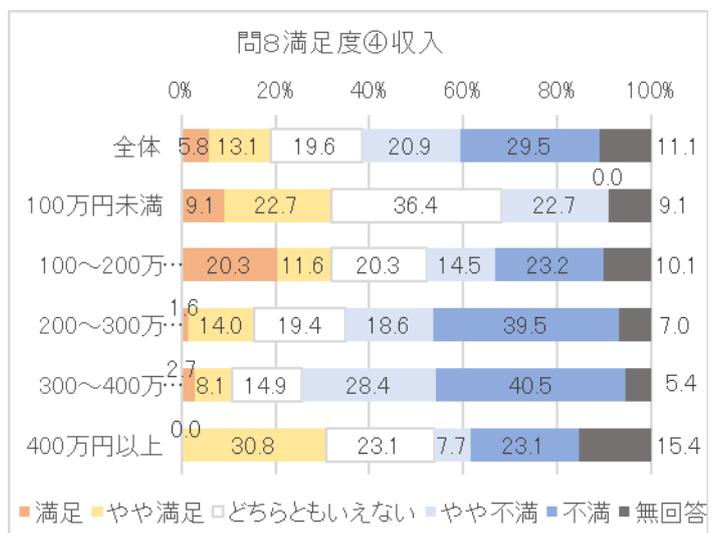
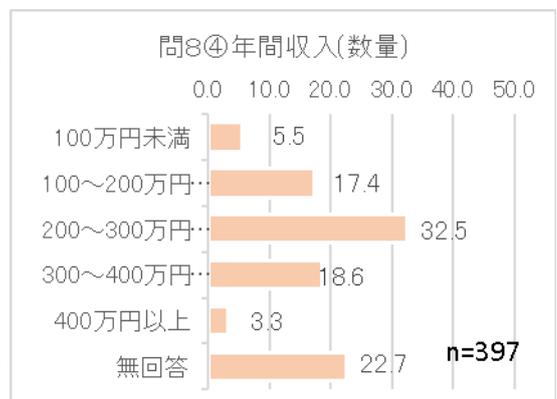
(7)⑤ 年間収入別の状況

年間収入別では、「200~300万円」(32.5%)が3人に1人の割合で最も多く、次いで、「300~400万円」(18.6%)、「100~200万円」(17.4%)が続いている。

年収額別の満足の比率は、「100~200万円」(20.3%)が最も高く、「100万円未満」(9.1%)が続くが、各年収クラスとも非常に低く、「400万円以上」では0.0%である。

満足とやや満足の合計比率で見ると、「100~200万円」(31.9%)、「100万円未満」(31.8%)、「400万円以上」(30.8%)で3割を超える。

しかし、多くの保育士が属する100万円から400万円未満の3つの年収クラスでは、不満とやや不満が満足側の比率を上回り、200万円から400万円では不満側の比率が6割前後と特に多くなっている。



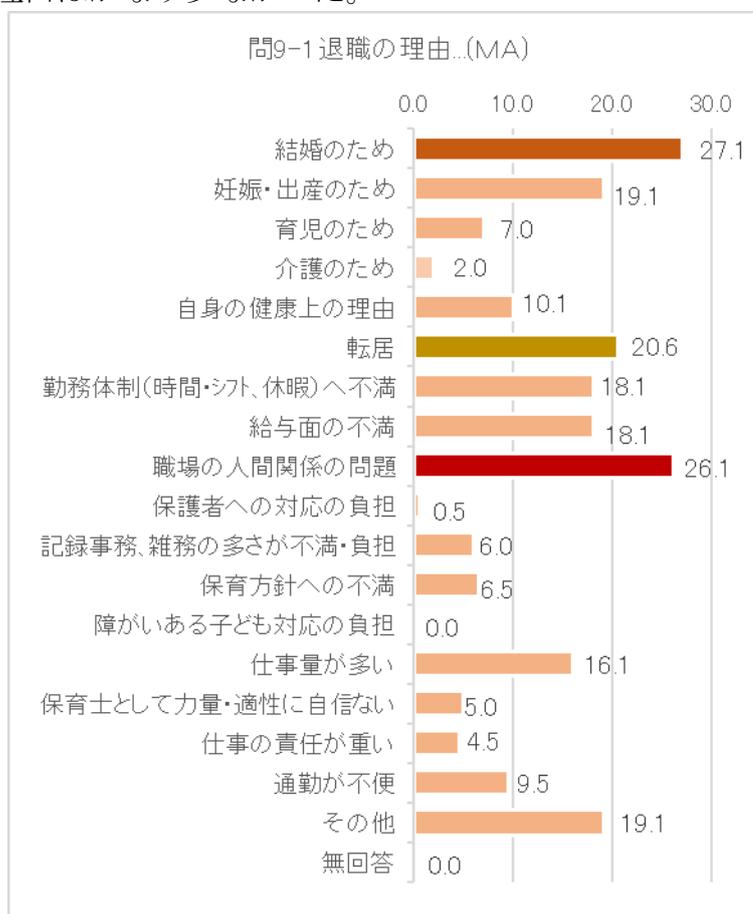
(2) 保育士勤務先を退職した理由

問9-1 問9で「1.あり」とお答えになった方へ、その理由は。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. 結婚のため | 10. 保護者への対応の負担 |
| 2. 妊娠・出産のため | 11. 記録等の事務、雑務の多さが不満・負担 |
| 3. 育児のため | 12. 保育方針への不満 |
| 4. 介護のため | 13. 障がいのある子どもへの対応の負担 |
| 5. 自身の健康上の理由 | 14. 仕事量が多い |
| 6. 転居 | 15. 保育士としての力量・適性に自信が持てない |
| 7. 勤務体制(勤務時間・シフト体制、
休暇取得困難等)への不満 | 16. 仕事の責任が重い |
| 8. 給与面の不満 | 17. 通勤が不便 |
| 9. 職場の人間関係の問題 | 18. その他(具体的に:) |

退職の理由は、「結婚のため」(27.1%)が最も多いが、2番目には「職場の人間関係の問題」(26.1%)が4人に1人を超える割合で挙げられ、「転居」(20.6%)、「妊娠・出産のため」(19.1%)や「育児のため」(7.0%)を上回って多い。「勤務体制(勤務時間・シフト体制、休暇取得困難等)への不満」と「給与面の不満」(ともに18.1%)も6人に1人の割合で比較的高い比率の退職理由である。「自身の健康上の理由」(10.1%)と「通勤が不便」(9.5%)は、約1割の人から挙げられた。

業務関係の理由では、「仕事量が多い」(16.1%)ことが比較的多く挙げられた一方、「保育方針への不満」(6.5%)、「記録等の事務、雑務の多さが不満・負担」(6.0%)、「仕事の責任が重い」(4.5%)などの理由はかなり少なかった。



(3) 妊娠・出産や育児のために退職した理由

問10 妊娠・出産や育児のために退職したことがある方に、その理由は、(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 育児休業が取りにくかったから | 6. 通勤時間が長い、マイカーが使えないなど通勤に苦勞するから |
| 2. 保育士の仕事がきつく、胎児の安全を考えたから | 7. 育児と家事で手いっぱいになったから |
| 3. 就業時間が長く、出勤・退勤の時刻をずらせないから | 8. 自分の子育てを最優先で考えたいから |
| 4. 体調不良で休みや短時間勤務になりがちで、「職場に迷惑」と思われるから | 9. 専業主婦を希望したから |
| 5. 自分の子どもを保育園に預けられないから | 10. 配偶者が保育士退職を希望したから |
| | 11. その他（具体的に ） |

最も多い理由として、「自分の子育てを最優先で考えたいから」(54.2%)が挙げられた。

しかし、その考えの背景には、「育児休業が取りにくかったから」(20.8%)、「保育士の仕事がきつく、胎児の安全を考えたから」、「就業時間が長く、出勤・退勤の時刻をずらせないから」、「体調不良で休みや短時間勤務になりがちで、「職場に迷惑」と思われるから」(いずれも 18.8%)が 2 割前後の比率で挙げられており、妊娠・出産・育児と保育士の仕事が両立し辛い保育園の状況があると考えられている。



なお、「その他」(22.9%)の理由をみると、保育事業者において産前産後休業・育児休業制度が適正に運用されていない可能性を示唆する内容の回答が多かった。

(4) 保育士の継続意向

問11 今後も保育士として働きたいですか。(○は1つだけ)

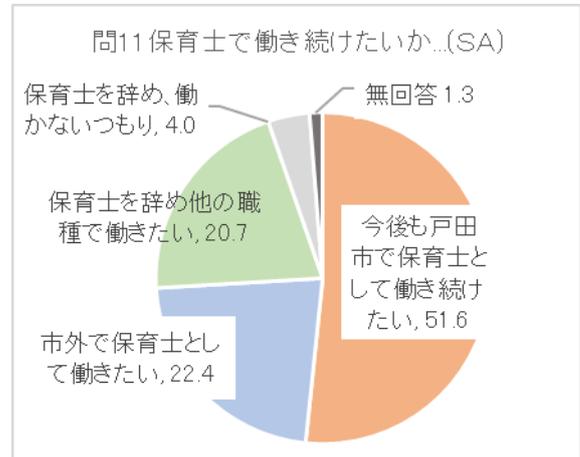
1. 今後も戸田市で保育士として働きたい →問11-1へ
2. 今後は市外で保育士として働きたい →問11-2へ
3. 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい(おおよそ 年後) →問11-3へ
4. 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ(おおよそ 年後)

「今後も戸田市で保育士として働きたい」(51.6%)が最も多く過半数であるが、「今後は市外で保育士として働きたい」(22.4%)、「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」(20.7%)など、戸田市での保育士を辞める意向の人が合計すると4割を超えている。

現に働いている保育士の継続、人数の確保について、かなり深刻な状況と見られる。

年齢別に見ると、20歳代、30歳代の“市内で保育士を続けたい”人の割合は半数を下回り、“市外で保育士をしたい”人が27%前後と4人に1人の割合を超える。

雇用形態別では、“市内で保育士を続けたい”正規職員は約50%で、契約職員や派遣社員を下回る。

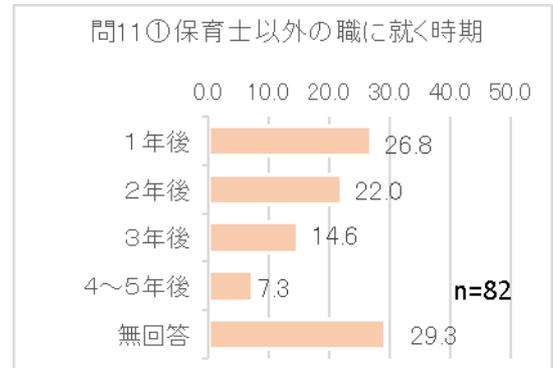


		り	25	50	75	100
全体	全体%	51.6	22.4	20.7	4.0	
年齢別	20歳代	42.1	27.6	25.5	3.4	
	30歳代	46.9	26.5	24.8	1.8	
	40歳代	69.1	12.3	14.9	2.5	
	50歳以上	61.8	14.5	9.1	12.7	
雇用形態別	正規職員	49.8	24.2	20.1	4.4	
	契約職員(フルタイム)	52.2	26.1	17.4	4.3	
	契約職員(パートタイム)	61.8	9.2	25.0	3.9	
	派遣社員	53.3	39.3	13.0	0.0	
法人種別	私立保育所(社福・財団)	51.7	24.2	19.9	3.0	
	私立保育所(株式会社)	50.9	20.5	22.3	5.4	
	小規模・事業所内保育	55.3	19.1	21.3	4.3	
収入金額別	100万円未満	59.1	9.1	27.3	4.5	
	100~200万円未満	50.7	21.7	23.2	4.3	
	200~300万円未満	44.2	26.4	23.3	5.4	
	300~400万円未満	51.4	28.4	13.5	4.1	
	400万円以上	69.2	23.1	7.0	0.0	

■ 戸田市で保育士続ける
■ 市外で保育士として働く
■ 保育士を辞め、他の職種で働く
■ 保育士辞め、働かない
■ 無回答

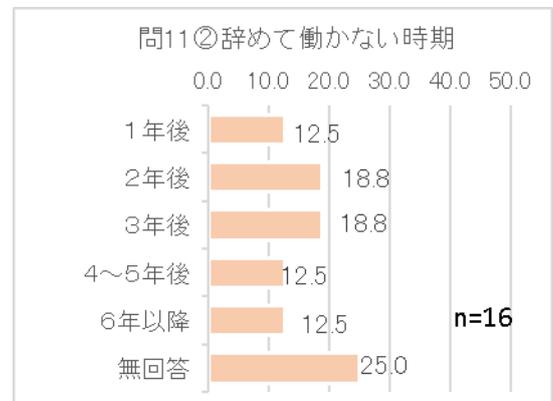
○**今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい（おおよそ 年後）**

今後保育士を辞め他の職種で働きたい保育士は、82人とかなり多く回答された。
保育士以外の職に就く時期について、「1年後」(26.8%)、「2年後」(22.0%)の順に多く、2年後までで約半数（約40人）が辞めると回答している。



○**今後は保育士を辞め、働かないつもりだ（おおよそ 年後）**

今後保育士を辞め働かないつもりの回答は、全部で16件と少ない。
辞めて働かなくなる時期については、「1年後」(12.5%)、「2年後」(18.8%)、「3年後」(18.8%)等と回答されており、3年後までで約半数が辞めると回答している。



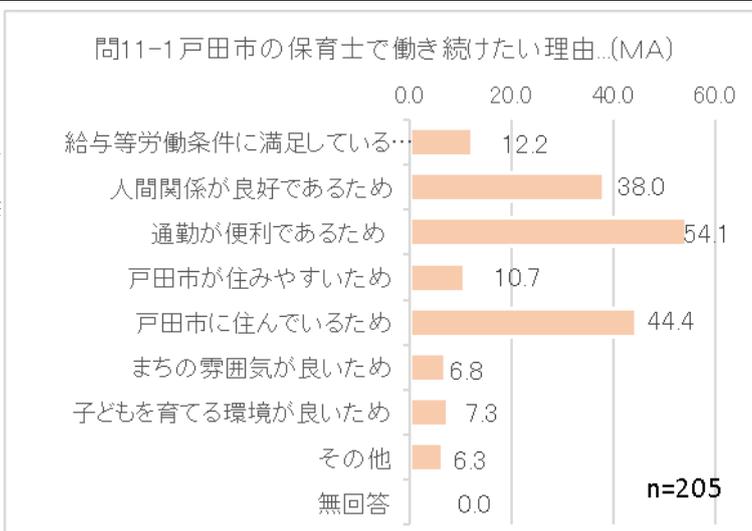
(4)①戸田市内の保育士継続の理由

問 11-1 (問 11 で「1」を選んだ方のみ) 戸田市で保育士として働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 給与等労働条件に満足しているため | 5. 戸田市に住んでいるため |
| 2. 人間関係が良好であるため | 6. まちの雰囲気が良いため |
| 3. 通勤が便利であるため | 7. 子どもを育てる環境が良いため |
| 4. 戸田市が住みやすいため | 8. その他 () |

「通勤が便利であるため」(54.1%)、「戸田市に住んでいるため」(44.4%)、「人間関係が良好であるため」(38.0%)を理由として挙げる人が多い。

「戸田市が住みやすいため」(10.7%)、「子どもを育てる環境が良いため」(7.3%)など環境を理由に挙げる人は比較的少ない。



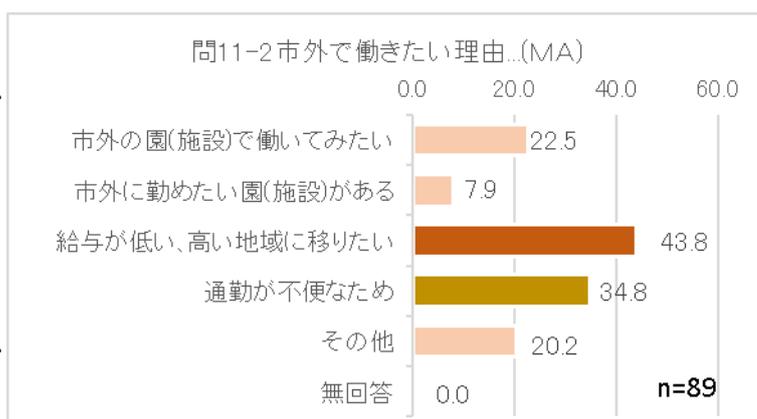
(4)②市外で働きたい理由

問 11-2 (問 11 で「2」を選んだ方のみ) 市外で働きたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

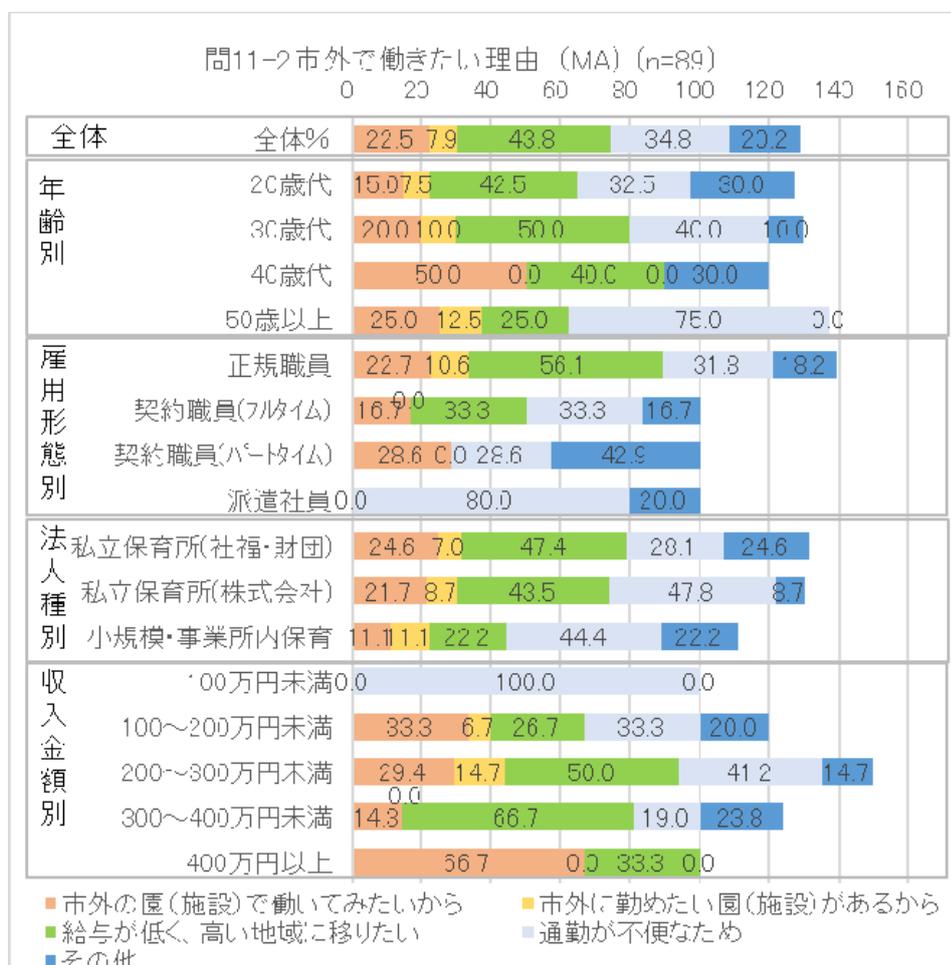
- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 市外の園(施設)で働いてみたいから
(東京都内・東京都以外) | 4. 通勤が不便なため |
| 2. 市外に勤めたい園(施設)があるから | 5. その他 () |
| 3. 給与が低いため、高い地域に移りたい | |

「給与が低いため、高い地域に移りたい」(43.8%)が最も多く、次いで「通勤が不便なため」(34.8%)が3人に1人の割合で挙げられている。

「その他」(20.2%)の理由では、自宅や実家の近くで働きたい等、選択肢4に類似する回答が多かった。



最も多い理由の「給与が低いため、高い地域に移りたい」を多く挙げている属性等を見ると、年齢別では30歳代(50.0%)、20歳代(42.5%)が多く、雇用形態別では正規職員(56.1%)が多く、勤務先では私立保育所(社会福祉法人・財団法人)(47.4%)、私立保育所(株式会社)(43.5%)が多く、年収金額クラス別では「300～400万円」(66.7%)、「200～300万円」(50.0%)が多い。



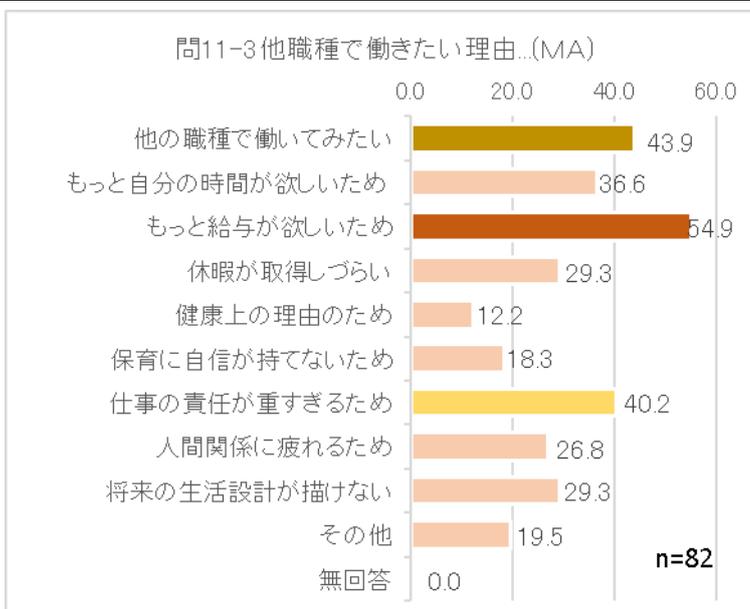
(4)③保育士を辞めたい理由

問 11-3 (問 11 で「3」を選んだ方のみ) 保育士を辞めたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 他の職種で働いてみたい | 6. 保育に自信が持てないため |
| 2. もっと自分の時間が欲しいため | 7. 仕事の責任が重すぎるため |
| 3. もっと給与が欲しいため | 8. 人間関係に疲れるため |
| 4. 休暇が取得しづらい | 9. 将来の生活設計が描けない |
| 5. 健康上の理由のため | 10. その他 () |

「今後、保育士を辞め他職種で働きたい」理由は、「もっと給与が欲しいため」(54.9%)が最も多く、次いで「他の職種で働いてみたい」(43.9%)、「仕事の責任が重すぎるため」(40.2%)等が多く挙げられている。

その他、「もっと自分の時間が欲しいため」(36.6%)、「休暇が取得しづらい」「将来の生活設計が描けない」(ともに29.3%)など勤務状況からの理由が少なくない。



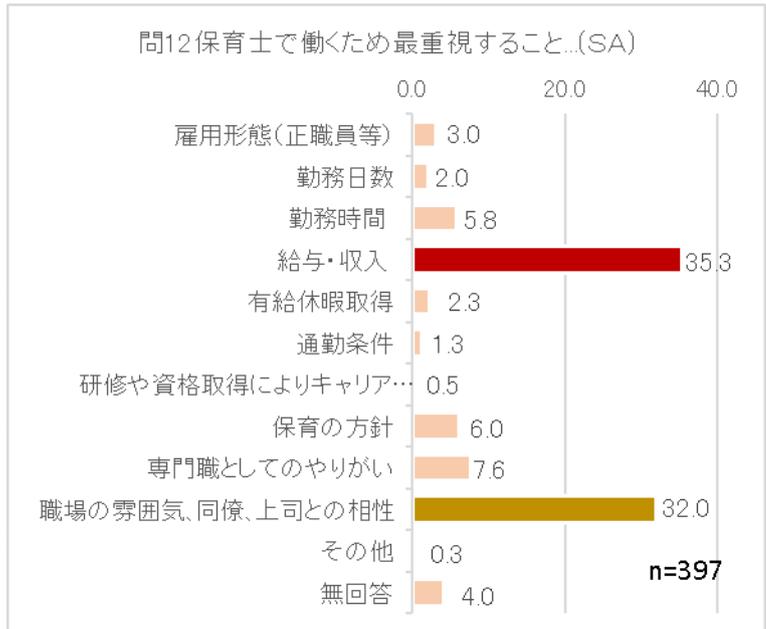
(5) 保育士として働くために、もっとも重視すること

問12 保育士として働くために、もっとも重視することは。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 雇用形態(正職員等) | 7. 研修や資格取得によりキャリアアップを目指せる |
| 2. 勤務日数 | 8. 保育の方針 |
| 3. 勤務時間 | 9. 専門職としてのやりがい |
| 4. 給与・収入 | 10. 職場の雰囲気、同僚、上司との相性 |
| 5. 有給休暇取得 | 11. その他 () |
| 6. 通勤条件 | |

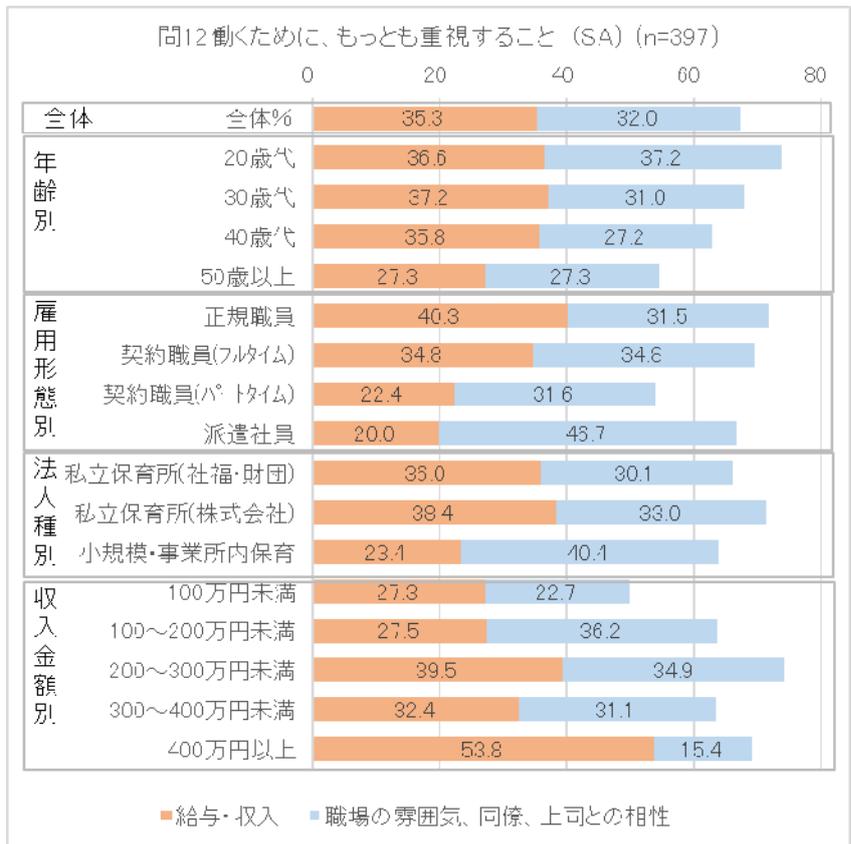
「保育士として働くために、もっとも重視すること」としては、「給与・収入」(35.3%)を挙げる回答が最も多く、次いで「職場の雰囲気、同僚、上司との相性」(32.0%)が、比較的多く挙げられた。

以降の回答は、「専門職としてのやりがい」(7.6%)、「保育の方針」(6.0%)、「勤務時間」(5.8%)と続くが、いずれも少なく、分散している。



主な2つの重視事項について、属性別の回答状況を見ると、「給与・収入」より「職場の雰囲気、同僚、上司との相性」を重視するものがある。

「職場の雰囲気、同僚、上司との相性」の比率が、20歳代(37.2%)、契約職員(パート)(31.6%)、派遣社員(46.7%)、小規模・事業所内保育事業(40.4%)、収入「100～200万円未満」クラス(36.2%)で、それぞれの「給与・収入」を重視する比率を上回っている。



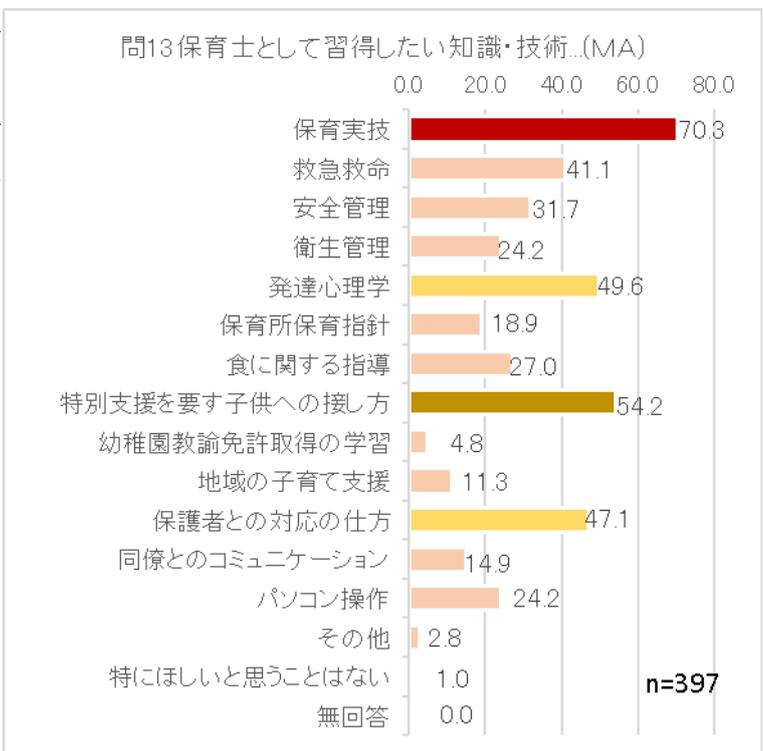
(6) 保育士として働きつづけるために修得したい知識や技術

問13 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からおえらびください。(○はいくつでも)

- 1. 保育実技
- 2. 救急救命
- 3. 安全管理
- 4. 衛生管理
- 5. 発達心理学
- 6. 保育所保育指針
- 7. 食に関する指導
- 8. 特別な支援を必要とする子供への接し方
- 9. 幼稚園教諭免許取得のための学習
- 10. 地域の子育て支援
- 11. 保護者との対応の仕方
- 12. 同僚とのコミュニケーション
- 13. パソコン操作
- 14. その他
- 15. 特にほしいと思うことはない

習得したい知識・技術で最も多く挙げられたのは、「保育実技」(70.3%)、次いで「特別支援を要する子供への接し方」(54.2%)、「発達心理学」(49.6%)、「保護者との対応の仕方」(47.1%)、「救命救急」(41.1%)の順に多い。

習得したい知識や技術を、属性別に見ると、例えば、20歳代では、保育実技(88.3%)、食に関する指導(29.7%)、保護者との対応の仕方(60.0%)、同僚とのコミュニケーション(17.2%)を平均以上に求めている。(下表の網掛け部分参照)



問13 保育士として働き続けるために、習得したい知識・技術														
	サンプル数n	保育実技	救急救命	安全管理	衛生管理	発達心理学	保育所保育指針	食に関する指導	特別な支援を必要とする子供への接し方	幼稚園教諭免許取得のための学習	地域の子育て支援	保護者との対応の仕方	同僚とのコミュニケーション	パソコン操作
全体	397	279	163	126	96	197	75	107	215	19	45	187	59	96
全体%	100	70.3	41.1	31.7	24.2	49.6	18.9	27.0	54.2	4.8	11.3	47.1	14.9	24.2
20歳代	145	88.3	35.2	31.7	23.4	48.3	17.9	29.7	55.2	3.4	9.7	60.0	17.2	18.6
30歳代	113	70.8	48.7	33.6	23.0	52.2	17.7	25.7	52.2	6.2	9.7	41.6	16.8	24.8
40歳代	81	58.0	44.4	34.6	24.7	48.1	22.2	18.5	53.1	7.4	17.3	35.8	8.6	27.2
50歳以上	55	41.8	38.2	25.5	29.1	50.9	20.0	36.4	58.2	1.8	10.9	43.6	14.5	34.5
正規職員	273	76.9	41.4	32.6	24.2	49.8	21.6	28.9	54.6	3.3	10.6	50.9	19.0	23.8
契約職員(フルタイム)	23	52.2	21.7	13.0	13.0	47.8	4.3	21.7	65.2	17.4	13.0	39.1	4.3	17.4
契約職員(パートタイム)	76	53.9	46.1	27.6	25.0	51.3	15.8	21.1	56.6	6.6	13.2	35.5	5.3	25.0
派遣社員	15	66.7	33.3	53.3	26.7	46.7	6.7	13.3	33.3	6.7	6.7	53.3	0.0	33.3
私立保育所(社福・財団)	236	71.6	41.9	33.1	25.0	49.6	14.8	25.8	56.8	6.4	11.0	49.6	15.3	21.2
私立保育所(株式会社)	112	72.3	39.3	33.0	24.1	56.3	32.1	25.9	58.9	2.7	13.4	42.0	15.2	33.0
小規模・事業所内保育	47	61.7	42.6	23.4	21.3	36.2	8.5	36.2	29.8	2.1	8.5	48.9	12.8	17.0

注)表中の黄色の網掛け箇所は、全体%を上回って、各属性が重視するものを示す。

(7) 希望する研修内容

問 14 どのような内容の研修を希望するか、できるだけ具体的にお書きください。

種類	提案、意見等の内容
1 遊び方等	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びなど現場ですぐ使える実践的な研修 ・体操やダンス、手遊び、歌など実践に役立つもの ・普段の生活のなかですぐ使える手遊びや、誕生日会などで使える出し物案、または出し物で使うものの作り方講習など ・保育の遊びを活かせる、運動遊び、体操、手遊びの研修があるとレパトリーも増えて楽しく研修を行えると思う。 ・子供をどうひきつけたら集中するか、楽しんでくれるか、リトミックや手遊び、パネルシアターなどの実技 ・0・1・2歳のそれぞれの製作や運動遊び等の保育実技。クラス別でなく、合同保育のアイデアなど。 ・絵本の読み聞かせ。 ・遊び、造形など ・リズム体操、わらべうた ・ダンスや楽器遊び、マットや平均台、ボール遊びの研修
2 救急、安全、衛生等	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我、発熱等日常の保育中に起こりうる乳児・幼児のケア ・感染症などの対応。経験が無いと何日休むか、症状の詳しいことなど分からない。 ・感染症予防、感染症にかかってしまった時に判別が分かりやすくなる研修。 ・アレルギーに対する食事の勧め方。またアレルギー反応が出た時の対応について。 ・食物アレルギー、食品添加物を心配する保護者が多いので、詳しく説明できるようにある程度高度な知識が必要と感じる ・アレルギー除去食の調理 ・救急救命などの知識や講習会を多く行ってほしい。 ・救急救命、けがの応急処置の仕方、特別な支援を必要とする子供への接し方 ・0・1・2歳児の詳しい救急救命を実技も一緒に行ってほしい。 ・地域で災害が起きた場合の避難の方法、周辺にどのような危険が予想されて子供たちを安全に守れる方法。応急処置など。 ・AEDなどの数も多く、実践的に出来て良かった。また実際に起こりうる身近な事故やけがの手当ての仕方など、実践を踏まえて行いたい。 ・ごく身近にある危険動植物なども含めて知識や対応など学んでいきたい。 ・安全な環境づくり ・子どもの不慮の事故を起こさない、安全性や保育の在り方 ・保育の現場に応じ衛生管理や安全管理の実践。保護者対応の仕方（トラブル時）。
3 発達障害、特別支援を要す子、親対応	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害 ・発達障害児について事例も含めた話し合い等 ・近頃特別な支援を要する子が増えているので、具体的にどうしたらいいのか、また園全体でもどう対応したらいいのか等 ・気になる子への対応（特別支援まではないが）や保護者への様子の伝え方など ・自閉症だとはっきりしない子、物へこだわりが強く疑いのある子への対応の仕方 ・落ち着きのない子や乱暴な言動が目立つ子についての対応や親子支援について。

<p>3 発達障害、特別支援を要す子、親対応(つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達心理学に興味があり、保育を行っている中でもそのような研修に参加できるような機会があれば今以上に子供に寄り添えるのではないかと思います。 ・健常児と特別な支援が必要な子供への接し方の違いや、特別な支援が必要な子供の保護者への対応。 ・自閉症スペクトラムやアスペルガー、ADHD（注意欠如多動性障害）などの発達障害のある子、またその疑いのある子への対応の仕方や、療育ではどんな指導をしてどのように伸ばしているのか。療育やOT（作業療法）・ST（言語聴覚療法）の角度からも保育現場に取り入れたい
<p>4 保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方への対応、クレームや欲求をどう断るか。 ・保護者とのやり取りの中で感情をぶつけられた時の対処法。 ・今の時代は親御さんの対応が難しく感じています。昔は専門職であり経験からアドバイスのようなことが普通でしたが、そのようなことがなるべくしない方がいいのかなと感じています。研修に一番必要な気がします。 ・保護者との対応の仕方でもロールプレイなど実際問題のある場合その背景になる要因を理解できるよう、心理学的な研修を学びたい ・良い関係を作るため保護者対応について ・外国籍の保護者への関わり方。
<p>5 職場での役割、経営、人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数に応じて必要とされる職場での役割、経営にあたっての人の作り方 ・他園の保育の進め方や園の方針について ・保育士だけで保育園を円滑に勤務することが出来る方法。 ・新卒保育士、リーダー、副主任、主任など役職や自分の環境に合った研修、グループワークなどがあるといい ・中堅職員としての立場、リスクマネジメント、担当制保育や一時保育のメリット ・ベテラン先生の保育を実際に見せて頂く研修 ・上部の意識改革、共働きや育児中でも仕事は続けられるワークバランスの研修。
<p>6 研修のあり方、方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務の保育園だけでなく、他の園の保育士との交流や意見交換が出来る研修がいい ・市内で働いている先生たちとの交流会も兼ねた研修会があるといい。 ・中々解決できない事案を持ち帰り、こういう時どう対処しているのか、どう解決したらいいのかなど意見交換。 ・グループワークの中で自由に質疑応答（話しやすい雰囲気大切）、専門分野の先生のお話後グループワークから質疑応答 ・パート保育士の役割について、他の園の保育士パートの人と交流会等を設けて、どのような立ち位置でどのような仕事をしているか聞いてみたい ・子育てを終えて初めて保育士として働くような人が対象の研修があってもいい ・言葉だけだと理解が難しい、子供の様子を見ることができる動画があれば嬉しい ・研修内容をネットで配信し、園で研修したい ・保育の知識やスキル向上につながる研修を一人月1回くらい参加できるように ・土曜や日曜など保育所が休みの日に研修があれば色々参加できる ・休日をつぶして参加する先生は少ない ・仕事の一環で平日昼間の研修を義務化する。

3 付属資料

調査票

あなたご自身についておたずねします

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳	5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳	9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70歳以上
配偶者の有無	1. 有	2. 無	
未就学児の有無	1. 有	2. 無	
住まい	1. 市内 2. さいたま市 3. 川口市 4. 蕨市	5. その他県内 () 6. 東京都内 () 7. その他 ()	
通勤時間	1. 30分以内	2. 30分～1時間	3. 1時間以上
主な通勤手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 電車 5. その他 ()		

現在の就業状況等についておたずねします

問1 あなたの保育士資格の取得方法は。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 専門(専修)学校の保育士養成課程 | 4. 通信教育等で学んだ後、保育士試験 |
| 2. 短期大学の保育士養成課程 | 5. その他 () |
| 3. 大学の保育士養成課程 | |

問2 現在のお勤めの園(施設)は。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 私立保育所(社会福祉・財団法人) | 4. その他 () |
| 2. 私立保育所(株式会社) | |
| 3. 小規模保育事業所・事業所内保育事業所 | |

問3 あなたの現在の雇用形態は。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 正規職員 (フルタイムの無期契約) | 4. 派遣社員 |
| 2. 有期契約職員 (フルタイム) | 5. その他 () |
| 3. 有期契約職員 (パートタイム) | |

問4 現在の法人等での保育士としての就業年数は。

() 年目

問5 あなたは保育士として通算何年仕事をされていますか。また、一つの法人等で保育士として最も長く継続して働いた年数は。(1年未満の方は1年とお書きください)

保育士通算 約 () 年 保育士として1箇所最長 約 () 年

問6 現在、勤務している職場への就業のきっかけは。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. ハローワークに求職登録 |
| 2. 県の福祉人材センターに求職登録 |
| 3. 人材派遣会社に登録・派遣 |
| 4. 知人・友人、OBからの紹介 |
| 5. 保育実習による実習先からの勧誘 |
| 6. 卒業した養成校からの紹介・あっせん |
| 7. 園(施設)の募集に対し自発的に直接申込み |
| 8. 求人サイト サイト名 () |
| 9. その他 () |

問7 問6の就業のきっかけの中で、最も役に立ったのは。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. ハローワークに求職登録 |
| 2. 県の福祉人材センターに求職登録 |
| 3. 人材派遣会社に登録・派遣 |
| 4. 知人・友人、OBからの紹介 |
| 5. 保育実習による実習先からの勧誘 |
| 6. 卒業した養成校からの紹介・あっせん |
| 7. 園(施設)の募集に対し自発的に直接申込み |
| 8. 求人サイト サイト名 () |
| 9. その他 () |

問8 現在の就業の満足度は。(それぞれ○は1つだけ)

※勤務日数・時間、収入については、()内に数字でご記入ください。

内容	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
雇用形態 (正職員、パート、派遣)	1	2	3	4	5
勤務日数 週 () 日	1	2	3	4	5
勤務(実働)時間 日 () 時間	1	2	3	4	5
収入 年 () 万円	1	2	3	4	5
有給休暇取得	1	2	3	4	5
園などの保育の方針	1	2	3	4	5
保育士としてのやりがい	1	2	3	4	5
保育以外(記録、教材の作成等)の業務	1	2	3	4	5
職場の雰囲気	1	2	3	4	5
各種研修の機会	1	2	3	4	5
上司からの自分への評価	1	2	3	4	5
育児休業から復職しやすい環境	1	2	3	4	5
仕事と子育ての両立	1	2	3	4	5
自宅からの通勤時間	1	2	3	4	5

問9 保育士の仕事を退職した経験は。(○は1つだけ)

1. あり () 回 2. なし

問9-1 問9で「1. あり」とお答えになった方へ、その理由は。(○は3つまで)

1. 結婚のため
2. 妊娠・出産のため
3. 育児のため
4. 介護のため
5. 自身の健康上の理由
6. 転居
7. 勤務体制（勤務時間・シフト体制、休暇取得困難等）への不満
8. 給与面の不満
9. 職場の人間関係の問題
10. 保護者への対応の負担
11. 記録等の事務、雑務の多さが不満・負担
12. 保育方針への不満
13. 障がいのある子どもへの対応の負担
14. 仕事量が多い
15. 保育士としての力量・適性に自信が持てない
16. 仕事の責任が重い
17. 通勤が不便
18. その他（具体的に：)

問10 妊娠・出産や育児のために退職したことがある方に。その理由は。(○は3つまで)

1. 育児休業が取りにくかったから
2. 保育士の仕事がきつく、胎児の安全を考えたから
3. 就業時間が長く、出勤・退勤の時刻をずらせないから
4. 体調不良で休みや短時間勤務になりがちで、「職場に迷惑」と思われるから
5. 自分の子どもを保育園に預けられないから
6. 通勤時間が長い、マイカーが使えないなど通勤に苦勞するから
7. 育児と家事で手いっぱいになったから
8. 自分の子育てを最優先で考えたいから
9. 専業主婦を希望したから
10. 配偶者が保育士退職を希望したから
11. その他（具体的に)

問 11 今後も保育士として働き続けたいですか。(○は1つだけ)

1. 今後も戸田市で保育士として働き続けたい →問 11-1 へ
2. 今後は市外で保育士として働きたい →問 11-2 へ
3. 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい(おおよそ 年後) →問 11-3 へ
4. 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ(おおよそ 年後)

問 11-1 (問 11 で「1」を選んだ方のみ) 戸田市で保育士として働き続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 給与等労働条件に満足しているため
2. 人間関係が良好であるため
3. 通勤が便利であるため
4. 戸田市が住みやすいため
5. 戸田市に住んでいるため
6. まちの雰囲気が良いため
7. 子どもを育てる環境が良いため
8. その他()

問 11-2 (問 11 で「2」を選んだ方のみ) 市外で働きたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 市外の園(施設)で働いてみたいから
(東京都内 ・ 東京都以外)
2. 市外に勤めたい園(施設)があるから ()
3. 給与が低いため、高い地域に移りたい
4. 通勤が不便なため
5. その他

問 11-3 (問 11 で「3」を選んだ方のみ) 保育士を辞めたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 他の職種で働いてみたい
2. もっと自分の時間が欲しいため
3. もっと給与が欲しいため
4. 休暇が取得しづらい
5. 健康上の理由のため
6. 保育に自信が持てないため
7. 仕事の責任が重すぎるため
8. 人間関係に疲れるため
9. 将来の生活設計が描けない
10. その他()

問 12 保育士として働くために、もっとも重視することは。(○は1つだけ)

1. 雇用形態(正職員等)
2. 勤務日数
3. 勤務時間
4. 給与・収入
5. 有給休暇取得
6. 通勤条件
7. 研修や資格取得によりキャリアアップを目指せる
8. 保育の方針
9. 専門職としてのやりがい
10. 職場の雰囲気、同僚、上司との相性
11. その他()

問 13 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からおえらびください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 保育実技 | 9. 幼稚園教諭免許取得のための学習 |
| 2. 救急救命 | 10. 地域の子育て支援 |
| 3. 安全管理 | 11. 保護者との対応の仕方 |
| 4. 衛生管理 | 12. 同僚とのコミュニケーション |
| 5. 発達心理学 | 13. パソコン操作 |
| 6. 保育所保育指針 | 14. その他 |
| 7. 食に関する指導 | () |
| 8. 特別な支援を必要とする子供への接し方 | 15. 特にほしいと思うことはない |

問 14 どのような内容の研修を希望するか、できるだけ具体的にお書きください。

問 15 「保育人材の確保」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。(下の記入欄に自由にご記入下さい。)

(例：新たな求人手法、保育士養成学校との連携強化策、潜在保育士・中高年等の活用策等)

問 16 「保育人材の定着化」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。(下の記入欄に自由にご記入下さい。)

(例：キャリアパス制度(※)の検討や職場環境・処遇等の改善策等)

※キャリアパス制度とは：キャリアアップの少ない保育人材が長期的に職務に就きたくなるようにモチベーション向上や専門性を高める支援を実施する仕組み。

問 17「戸田市の保育の魅力アップ」についてご提案・アイデア・ご意見などがございましたら、お聞かせください。（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

（例：自治体と各施設の特徴的な取組みの PR、保育サービスや質の向上等につながる事業等。）

◎ 戸田市の保育全般につきましてご自由にご意見をお聞かせください。
（下の記入欄に自由にご記入下さい。）

◆ お忙しいところ、ご協力頂きありがとうございました。 ◆

戸田市保育士アンケート調査報告書
平成 30 年 1 月

発 行：戸田市 こども青少年部 待機児童緊急対策室
〒335-8588 戸田市上戸田 1 丁目 18 番 1 号
TEL 048(441)1800 (代表)

調査分析：株式会社 アイアールエス